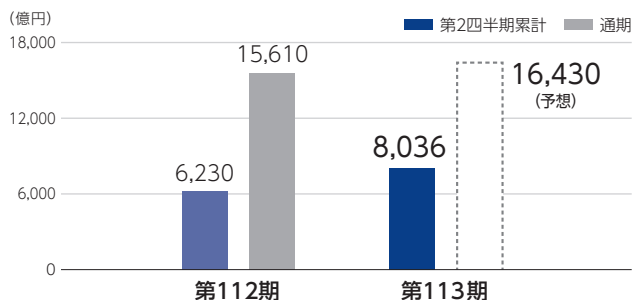


# 連結決算ハイライト

第113期第2四半期累計期間：令和5年4月1日から令和5年9月30日まで

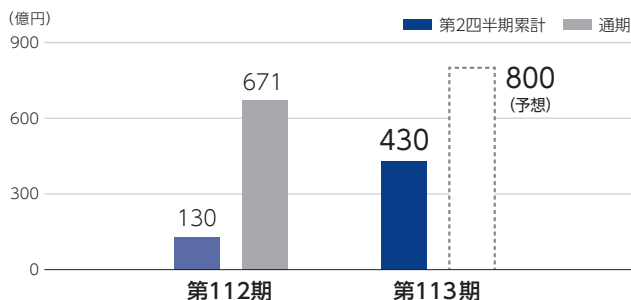
## 営業収益

新型コロナウイルス感染症の影響が縮小して需要が回復傾向にあるほか、前年7月に連結子会社化した近鉄エクスプレスの業績が期を通じて寄与したことから、増収となりました。



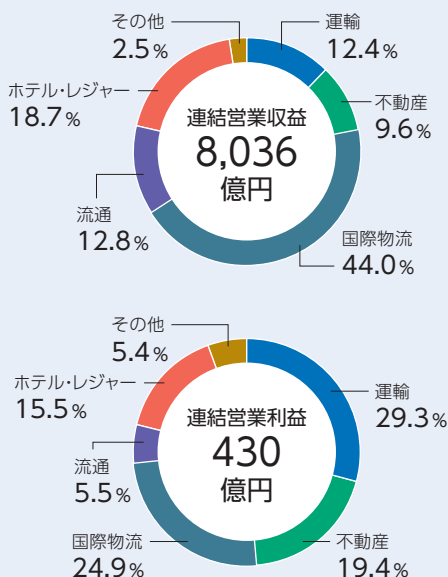
## 営業利益

各事業で増収増益となったほか、近鉄エクスプレスの連結子会社化により、増益となりました。



※第112期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第112期第2四半期に係る各数値については、この確定による見直し後の数値を記載しております。

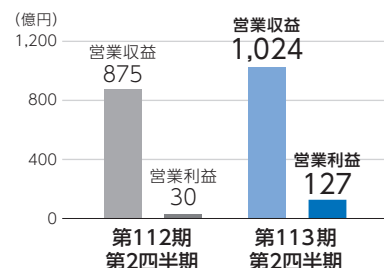
## 事業別の概況 (セグメント別構成比)



**運輸** ..... 48社  
(うち、連結子会社 22社)

鉄軌道部門で、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小して人流が増加し、定期、定期外とも回復傾向にあることに加え、本年4月に実施した運賃改定の効果もあったため、増収増益となりました。

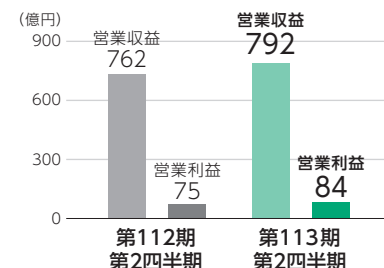
### 〈営業収益・営業損益〉



**不動産** ..... 13社  
(うち、連結子会社 5社)

不動産販売部門でマンション分譲戸数が増加したこと等により、増収増益となりました。

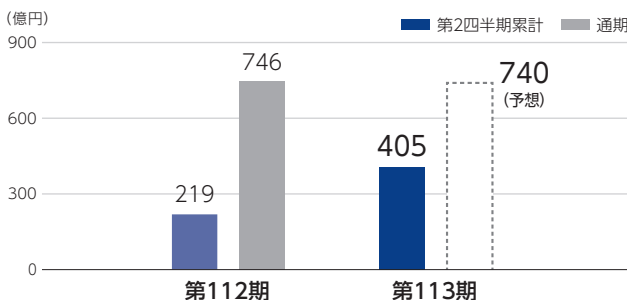
### 〈営業収益・営業損益〉



※レジャー事業の再編に伴い、第113期第2四半期より、運輸業に含まれていた志摩スペイン村事業等の観光施設  
※各事業の会社数には非連結子会社および関連会社を含んでおりますが、営業収益には非連結子会社および関連

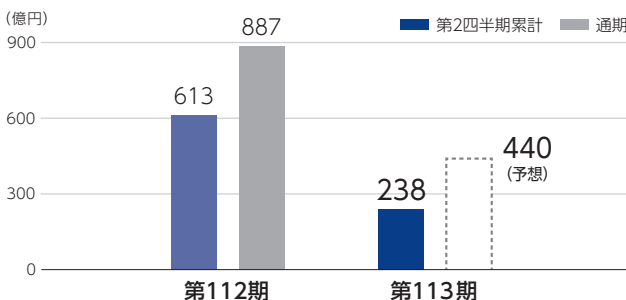
## 経常利益

前期に持分法適用関連会社であった近鉄エキスペスの連結子会社化により、営業外損益で持分法による投資利益が減少しましたが、営業利益が増加したため増益となりました。



## 純利益

前期は近鉄エキスペスの連結子会社化に伴い特別損益で段階取得に係る差益を計上していたこともあり、減益となりました。



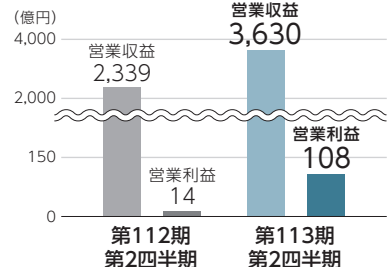
※記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。



## 国際物流 …… 134社 (うち、連結子会社 127社)

近鉄エキスペスの業績が期首より寄与したため、コロナ禍で高騰していた運賃の正常化に伴い販売価格の低下が進む中、輸送需要が低調に推移し航空貨物の取扱物量が減少しましたが、増収増益となりました。

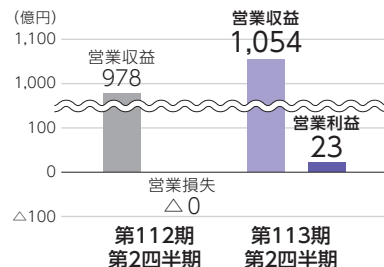
### 〈営業収益・営業損益〉



## 流通 …… 13社 (うち、連結子会社 10社)

百貨店部門で来店客の増加等に加え、外商売上も高額品を中心に伸長したほか、ストア・飲食部門で観光需要の回復により駅ナカ店舗やレストラン等の利用客が増加したため、増収、利益計上となりました。

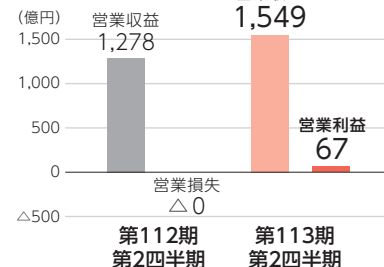
### 〈営業収益・営業損益〉



## ホテル・レジャー …… 36社 (うち、連結子会社 29社)

ホテル部門でインバウンド需要の急速な回復等により宿泊利用が大きく増加したほか、旅行部門でも旅行業以外の業務受託は減少したものの、国内旅行や海外旅行の需要回復により、増収、利益計上となりました。

### 〈営業収益・営業損益〉



事業を、ホテル・レジャー業の区分に変更しております。※各事業の営業収益の金額には、セグメント間の内部売上高等が含まれております。

会社を含んでおりません。

※記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。